



杉並区立沓掛小学校運営協議会だより

杉並区立沓掛小学校運営協議会会長 近藤 真司

令和3年第5回沓掛小学校運営協議会報告(令和3年10月12日)

◆会長挨拶・・区の教育委員会の「学校運営協議会」を紹介する最新パンフレットが皆様の机上に配られています。最初の頁に、年間のタイムーブルが載っていますが、これからは次年度の教職員任用に関する協議など、審議事項が続いて行きますので宜しくお願ひ致します。

◆校長挨拶・・緊急事態宣言中は、人数の制限や短時間などの工夫をしていました。AKA授業公開は、天沼中校の先生方に参観する授業を指定して実施致しました。10/5の開校記念日の前日の全校集会では、学校の成り立ちや沓掛の由来、校歌の由来について説明しカリヨンを鳴らしました。TEAMSで中継して学校中にきれいな音色が響きました。給食の時は、校歌を聴きながらお赤飯を食べ学校の誕生日をお祝いしました。10/9体育学習発表会は前日のリハーサルは全校生徒が互いに見学する児童鑑賞会としました。保護者鑑賞日は、支援本部やPTAの協力を得てスムーズに終えることが出来ました。2学期の今後の予定は、1~4年生の遠足や展覧会があります。1、2年生はバス利用ですが、3、4年生は近場の公園に徒歩で行き、学年レクリエーションを行う予定です。CS委員の原田さんが入院されていましたが、容体が悪化し9月15日にご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

◆体育学習発表会参観報告

- ・毎年見させて戴いていますが、コロナ禍の影響か、子ども達の体格が少し気になりました。
- ・沓掛小の子供は、学力より体力の方が都や国と比べて落ちているようです。練習では特別課程を組んだのですか？
- ・特別課程を組み7時間程行いました。制限がある中で、各学年が工夫して行っていました。6年生の組み体操も、組まない組み体操でした。それでも息を合わせれば感動する演技が出来ました。5年生のソーラン節もよく練習をして腰を落とした迫力のある演技をしていました。体育の学習の成果を発表するという意図で表現演技を見てもらうことで、限定された中でゆっくりと見ることが出来たと保護者からも評判が良かったです。
- ・6年生の組み体操は本当に組まずに行っていました。今年はほぼマスク着用で行っていました。今後、運動会に戻していくのは今の形を続けていくのか考へる必要があると思います。

◆協議事項 令和4年度教員および管理職の任用に関する意見の申し出について

来年度の教員・管理職の任用に関する説明がありました。説明を下に任用について話し合いました。

◆その他

- ①学校支援本部より報告・・支援本部の分区の連絡会がCSと支援本部の連携というテーマで行われました。沓掛小はCSと支援本部の役割分担が学校の運営を支えているという評価を戴きました。
- ②震災避難所の件・・現在避難所会長は空席である。避難所はすぐには立ち上がらないし、余震があると体育館にいられない状態になるという心配がある。区も在宅避難の呼びかけているようです。

次回の運営協議会は11月9日(火)17:00~ 於:開放会議室 傍聴希望者は副校长へ